

## 式 辞

偶聞の桜の花が春風に舞い、緑の若葉が顔を出し始めたこの良き日に、大阪市立築港中学校の入学式を挙行できることを心よりお礼申しあげます。保護者の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。心よりお祝い申しあげます。

お子様の晴れやかな姿を前にして、感慨もひとしおのことだと思います。生徒たちは、学校生活の中できれいな課題と出会いながら自立し、これから社会生活をより良く生きるための力を育んでまいります。様々な経験や体験を重ねながら、心身ともに大きくたくましく成長します。時にはトラブルを通して、社会生活の根幹を学んでいくことになります。生徒たちのより良い成長には保護者の皆様と教職員が、心を一つにチーム築港中学として、生徒たちを見守り、育んでいくことが大切です。本校では、生徒一人一人が自分の夢を大きく育て、将来、立派に実現できる力を身につけるように、誠心誠意、努力する決意です。

どうか、本校の教育活動の推進にご協力を願いします。

さて、新入生の皆さん、ここから見ていると、皆さん一人一人の顔が、とても素晴らしい輝いています。この凛とした空気の中に、これから始まる新しい学校生活への皆さんの大きな期待が、と

手も感じられます。そして、そんな皆さんを本校に迎えることができて、とてもうれしく思っています。

現代社会は、多くの情報が乱れ飛び交っています。君たちを取り巻く環境も多種多様になっています。この様な状況だからこそ、大きな声であります。

さつをする習慣を身につけてください。

そして、「誠のある人であってほしい」と願っています。いかに賢くとも、いかに強くとも、人としての真心がなくては、周りの人たちと、気持ちを通じ合えることなく、様々な問題を引き起こします。

ます。自分自身を大切にし、人の痛みが分かり、自らの過ちに気づいたときは、「ごめんなさい」と言える素直な心と態度を身につけ、実践できる人になつてください。

努力を惜しまない人になつてください。本校を学び鍛える場所として、さらに成長してください。学校は集団で学び合い、高め合うところです。友人と切磋琢磨するから、自分も成長することができます。共に汗を流し、共に笑い、共に涙を流すことによつて、友人が仲間となり、中学校生活が充実したものになると信じています。これから始まる中学校三年間の学びを通して、

「春風のような暖かな心」で、人に接し、「冬のような厳しい心」で、自分を反省することができます。心豊かな人間に成長することを祈っています。

本日の入学式が、君たちの夢をかなえる、新たな一步となることを期待するとともに、みずみずしい感性を持ち、希望にあふれた、君たちの前途に、幸、多かれど、祈念し、式辞とさせていただきます。

令和二年四月三日

大阪市立築港中学校長 西 木

晃